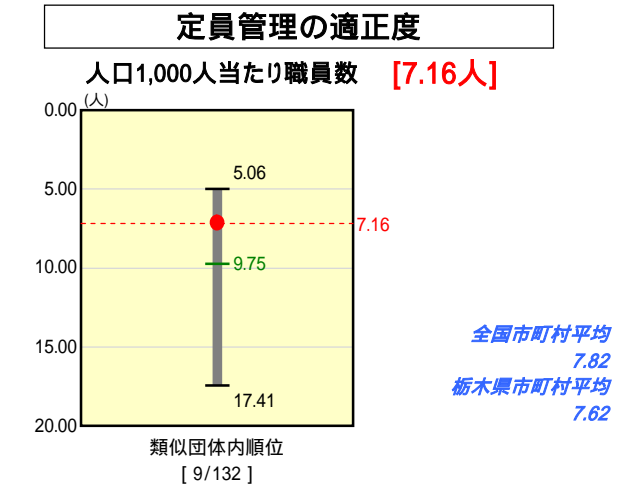
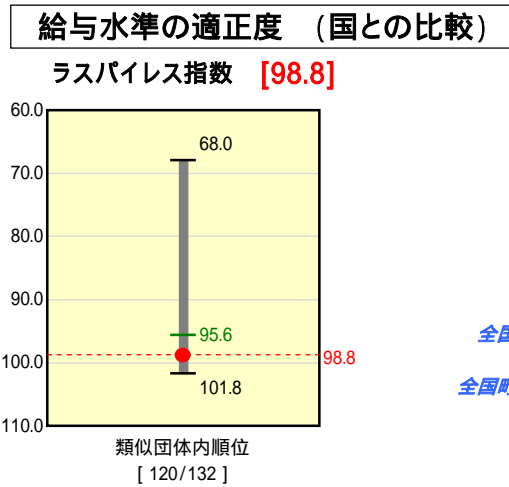
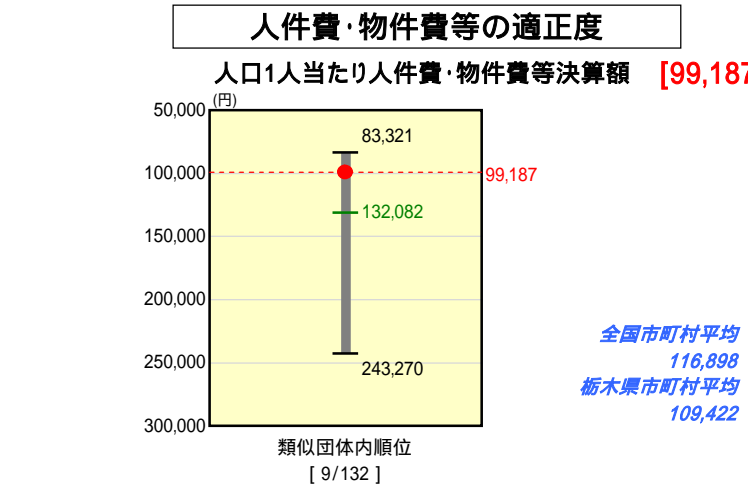
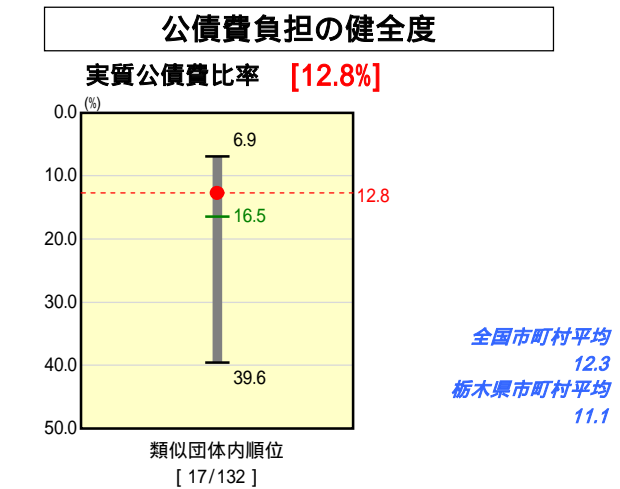
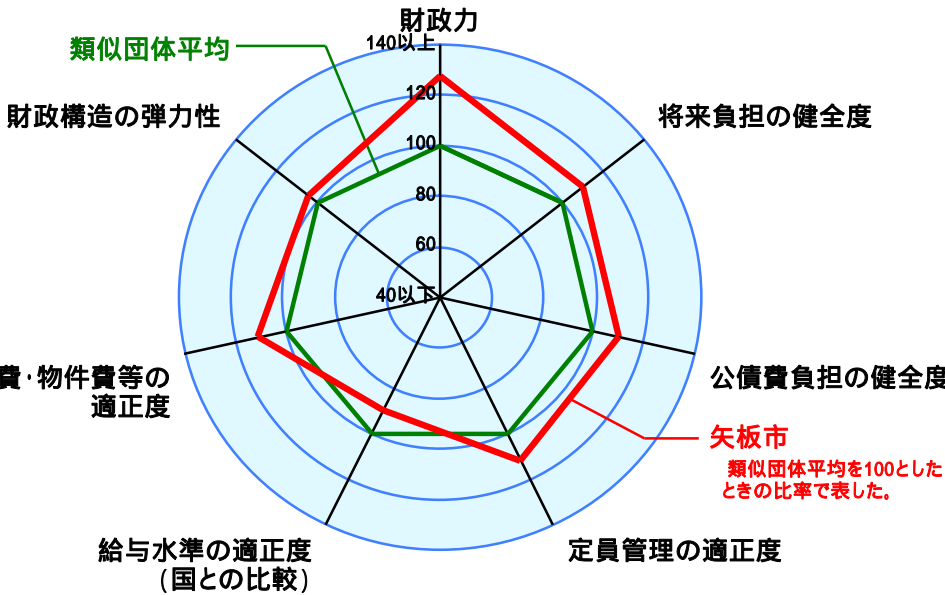
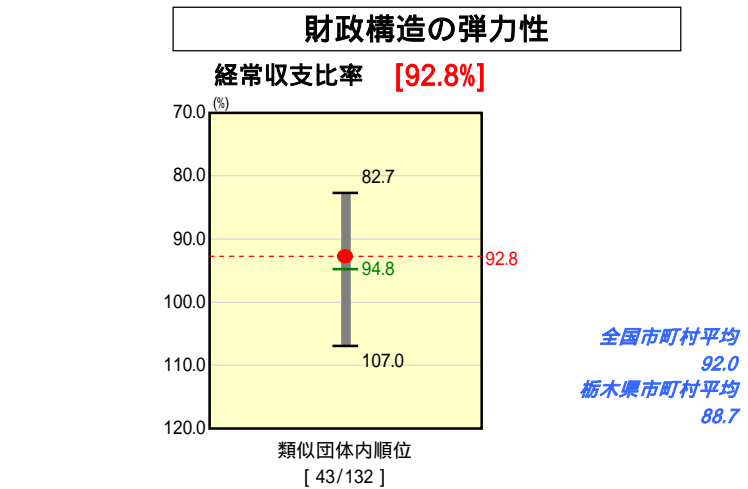
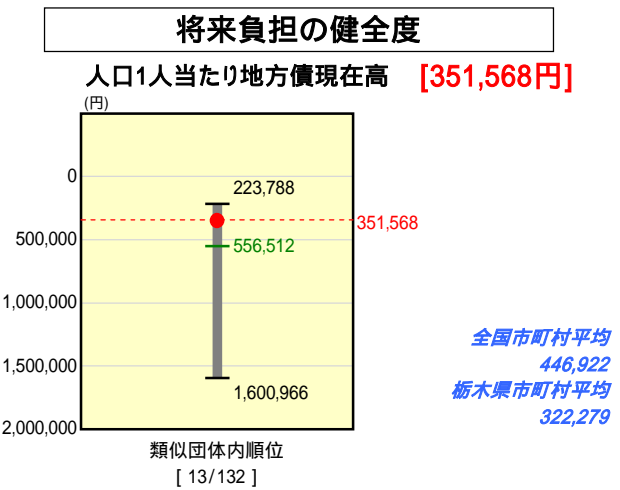
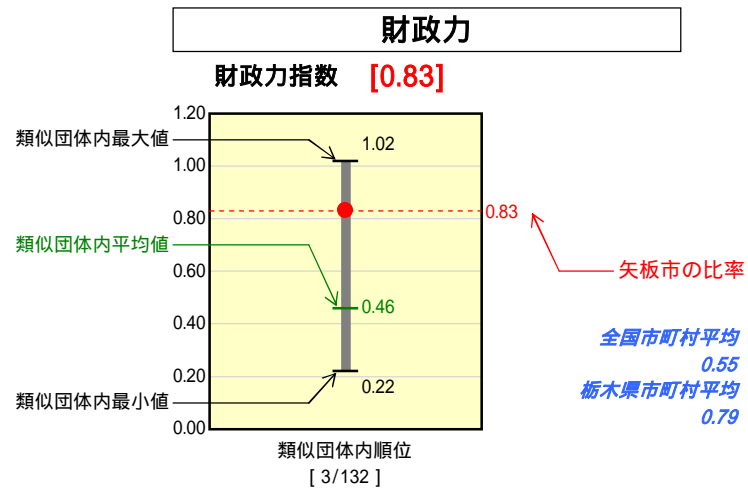


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

栃木県 矢板市

人口	35,745	人(H20.3.31現在)
面積	170.66	km ²
歳入総額	12,081,022	千円
歳出総額	11,463,766	千円
実質収支	509,783	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- ・財政力指数
基準財政収入額は市民税所得割が増加した代わりに所得譲与税が廃止となり、また、法人税割の減少もあり前年度に比べ減となっている。一方、基準財政需要額は増加しているため財政力指数は単年度では悪化している。本市の税収は、景気の動向に左右されやすい構造であるため、今後も財政健全化計画に基づいた職員数の削減(10年間で34名減)による人件費の削減、物件費の削減(5年間で25%減)等の歳出抑制に努める。また、税収の徴収率向上対策(5年間で0.7%向上)を中心とした歳入確保に努めることにより財政の健全化を目指す。
- ・経常収支比率
類似団体平均を下回っているが、比率は年々悪化(対前年度比2.7ポイント上昇)している。前年度と比べ、人件費は減少しているが生活保護費や児童手当の支給要件の変更による児童福祉関係の扶助費の増や公債費の増などにより経常経費充当一般財源額が増加(前年度比2.8%増)しており、それに加え、経常一般財源が減少していることが要因である。今後も人件費や物件費等の経常経費削減や市債の繰上償還・借換えによる公債費負担の軽減・平準化、税の徴収率向上対策による経常一般財源確保に努める。
- ・ラスパイレス指数
各種手当等の見直しを行ってきているが、類似団体平均及び全国市平均を上回っている。今後も、勤務評定制度等により年功的な昇給制度の見直しを行い、更なる給与水準の適正化に努める。
- ・人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均を下回っている。今後も普通建設事業については優先順位や費用対効果を十分に検討したうえで取組み、新規地方債発行の管理を行う。また、補償金免除繰上償還制度の活用により繰上償還を行うなど、地方債現在高を減らし将来世代に負担を強いまいよう努める。
- ・実質公債費比率
類似団体平均を下回っている。公営企業債の償還財源に充てられる繰上償還の増加や指定管理者制度導入に伴う債務負担行為の支出額が増加するなど準元利償還金の増加が要因である。今後は、補償金免除繰上償還制度の活用による繰上償還や低金利に借換えを行うなどし、公債費負担の軽減及び平準化を図る。
- ・人口1,000人当たり職員数
類似団体平均を下回っているが、今後も財政健全化計画に基づき、事務事業及び組織の見直しを行い、職員の適正配置や適正な定員管理に努める。